

五色池通信

296 2011年2月16日 発行

中土手に自然を戻す市民の会

東京都江戸川区東小松川3-35-13-204

〒132-0033 Tel 3654-7240 Fax 03-3654-7256

<http://members2.jcom.home.ne.jp/nakadote/>

中土手の自然で焚き木も自給自足に

2011年はじめての中土手は、晴れて暖かく、作業日和になりました。元気な子どもたちもやってきてにぎわいました。

広場の草刈りも右の写真のようにかなり進み、池のよし刈りも、荒川さんの持参した草刈りバリカン(?)で池の東側半分ほど刈りました。

右の写真(?!)たくさんあった木の切り株が、極端に少なくなっています。河川居住者が持ち去って焚き木にしたらしく、小屋の裏に置いた竹や木もなくなっています。河川敷にはたくさん木があるのだからそれを切って使えばいいのに他人のものを盗るようでは困ります。

お昼にはトン汁を作って食べたほか、キクイモを茹でて食べ、さらに、さつま芋をかまどの熾きに入れて焼いて食べました。子どもたちが大喜びで焼いもを食べていました。

大杉小の中土手探検支援の準備

21日に予定されている大杉小学校の行事で子どもたちがキクイモ掘りが出来るようにと、キクイモの茎がわかるようにまばらに残して刈るなど、工夫しながら草刈りをしました。

また、昨年春に枝打ちをしたヤナギの枝を集めて、大杉小のトン汁作り用の焚き木を作りました。中土手の自然は焚き木も自給自足できる豊かさになりました。



柳の枝で焚き木作り作業



採れたキクイモ



大塚さんがヨシ笛の準備

この後の行事予定

2月20日(日)10:00 中土手定例作業・観察会

3月13日(日) 10:00 下平井水辺の楽校作業

3月20日(日)10:00 中土手定例作業・観察会

(送金ありがとうございます。年会費1家族2000円よろしく)



大杉小学校 160名で中土手探検



1月21日、大杉小学校中土手探検冬の巻が行われ、3、4年生約120人と先生や父母合わせて約160人が中土手にやってきました。上の写真は子どもたちがお昼に輪になって弁当を広げて食べているところ、右はトン汁をよそってもらっているところ、毎年繰り返されるのどかな光景です。

午前中は目当ての活動で、グループごとに植物や昆虫、ゴミ、水生生物などの調査・学習で、中土手の会のスタッフや荒川クリーンエイド・フォーラムの運営委員など6人で安全見守りや学習補助を行いました。鳥グループは独自に自転車で葛西橋方面で野鳥観察です。

昼近くになって、全員でキクイモ掘り。このときは、高山さんがキクイモのある場所と、茎の特徴、掘り方などを説明し、スコップを持って全員で掘りました。

16日に柳の枝でこしらえた焚き木は、快調に燃え、たくさん余ってしまいました。

キクイモは、お母さんたちが水で洗って茹で、子どもたちがひとつずつ(?)食べていました。

今回は、同校でインフルエンザで休む子が多く、早めに学校に戻るという日程で、午後の自然遊びは早々に切り上げました。それでも、ヨシ笛や弓矢、スタレ編み、ヨシズ編み、自然観察など思い思いの遊びを楽しんでいました。4年生は、今回が最後の中土手たんけんということで、お世話をした私達に全員でお礼を述べてくれました。会からは、またいつでも、家の人と一緒に遊びに来てくださいと声をかけました。



今回、トン汁の大なべをかけるかまどをコンクリートブロックで作って、火を炊きました。かなりうまく出来たので、今後はもっと大きな鍋でも可能になりました。

